

報道関係各位

2021年11月30日

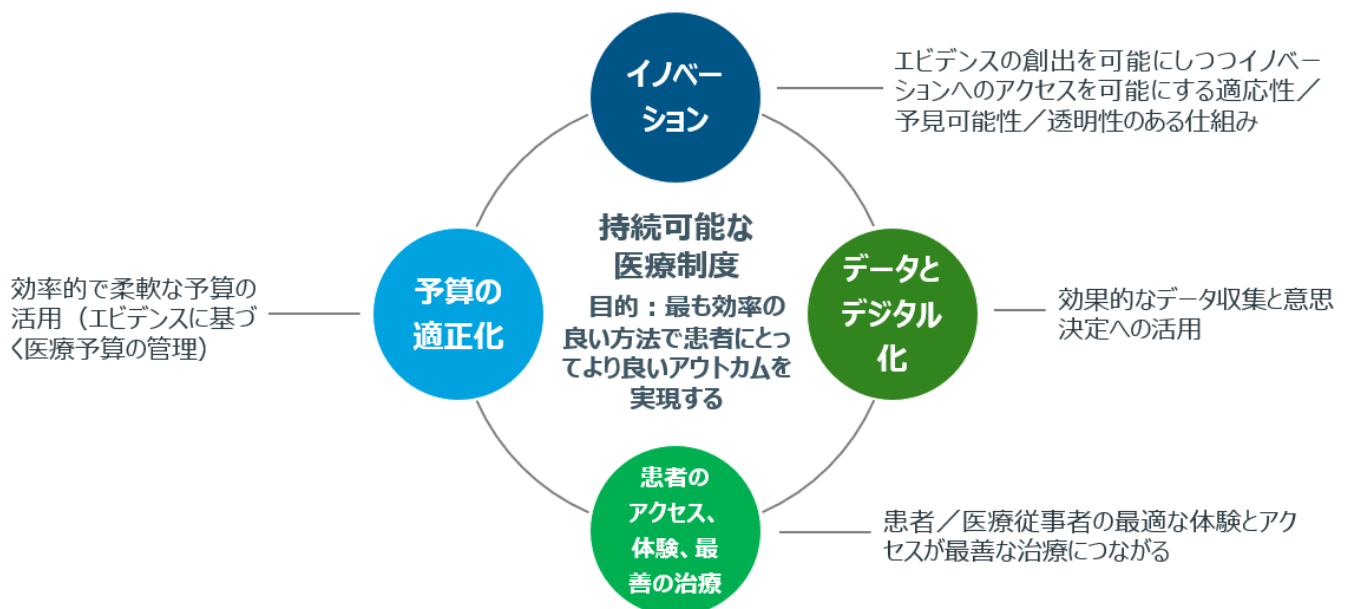
「ヘルスケア・イノベーション・フォーラム 2021」から

IQVIA Institute for Human Data Science による新たなレポートを発表

糖尿病管理のイノベーションとその価値評価を事例に、
持続可能な日本の医療制度について提言

IQVIA Institute for Human Data Science は、日本イーライリリー社と米国研究製薬工業協会 (PhRMA) の共催により 2021 年 6 月 9 日に開催された『ヘルスケア・イノベーション・フォーラム 2021 (以下 HIF2021)』の内容をベースとしたレポート「医療制度の持続可能性：糖尿病を事例に」を発行しました。本レポートでは、糖尿病管理のイノベーションと、それらが持つ価値の向上を評価することにより、持続可能性を高める日本の医療制度のあり方を提言するもので、持続可能な医療制度を構成する要素を次の 4 つにまとめ、それらを包括的に検討することで、最も効率の良い方法で最適な治療と健康アウトカムの実現を目指し、今後とるべき行動などをまとめています。

< 持続可能な医療制度を構成する 4 要素 >



1. **イノベーション**：医療技術、薬剤、医療提供体制や医療従事者の対応能力についての継続的なイノベーション。そしてイノベーションが、そのベネフィットの評価を向上できるような高い適応性、予見可能性と透明性を備えた測定と評価の仕組みに基づいていることが重要。
2. **予算の適正化**：不必要な支出を最小限に抑えつつ、エビデンスに基づいて患者アウトカムを最大化する効率的かつ柔軟な資源配分。
3. **データとデジタル化**：効果的なデータ収集と分析。個々の患者や医療制度レベルの意思決定に活用する。
4. **患者のアクセス、体験、最善の治療**：患者や医療従事者の体験とアクセスの最適化。イノベーションを最適かつ持続的に活用し、医療制度への投資に対し最大の利益をもたらす。

少子高齢化の進展にともない、日本の医療制度は持続可能性が脅かされる様々な課題に直面しており、今後はより効率的で効果的な医療制度を確立するための措置を講じる必要が求められつつあります。

最新の糖尿病治療における進歩は、血糖管理の改善、患者の負担軽減、総合的な健康アウトカムの改善、治療や予算の効率化といった形で価値を高める可能性を秘めており、持続可能な医療の事例として糖尿病を検討することで、医療制度改革の重要性、イノベーションの役割やそれによって得られる潜在的なベネフィットを強調することができます。

本レポートは糖尿病を事例に政策上の解決策を示しましたが、この提案は患者はもとより医療の持続性や社会に同様に影響の大きい、他の慢性疾患でも活用することができます。

*本レポートは、イーライリリー・アンド・カンパニーの協賛のもと HIF2021 の議論について IQVIA Institute が独自に作成したものです。日本語版レポートは[こちら](#)

*本レポートの目次

糖尿病の事例：持続可能性に向けて

- 日本における糖尿病治療の現状
- 最適ではない治療アウトカム
- 財政への大きな影響
- データの活用不足
- イノベーションと最善の治療の包括的導入への障壁
- 糖尿病治療における持続可能なモデルとは

- 技術とシステムの継続的なイノベーション
- 効果的なデータ活用とデジタル化
- 患者と医療従事者による最善の治療経験へのアクセス
- 効率的で柔軟な予算の活用

政策への提言

- 提言 1: 複数年にわたるアウトカムを考慮し、予算への影響も緩和できるようなエビデンスに基づいた視点で、イノベーションへの投資を推進する
- 提言 2: 医療制度の効率性と持続可能性を改善するために医療制度全体の改革においてバランスのとれたエビデンスに基づくアプローチを進める
- 提言 3: デジタルソリューションとデータ収集を推進し、医療の効率性と効果を向上させ、長期的な持続可能性へとつなげていく
- 提言 4: 患者と医療従事者の体験を最適化し、最良のケアへのアクセスを確保する

結論／行動の呼びかけ

###

IQVIA Institute for Human Data Science について

IQVIA Institute for Human Data Science は、タイムリーな研究、洞察力の高い分析、高精度且つ識別されない患者レベルのデータを応用した科学的専門知識を通じて、世界の人々の健康の向上に貢献しています。ヘルスケアに不可欠なニーズを満たすために、当 Institute では客観的且つ適切なインサイトと研究を提供し、正しい意思決定とヒューマン・アウトカムの向上に不可欠となる理解や革新性を促進しています。IQVIA の専門知識、高度な分析、テクノロジー、ならびに比類ないデータへのアクセス可能によって、当 Institute は政府機関、学術機関、ライフサイエンス業界、そして保険者を含む幅広いヘルスケアのステークホルダーと協力し、Human Data Science に焦点を当てた研究アジェンダを推進しています。IQVIA Institute の詳しい情報はこちら www.IQVIAInstitute.org をご覧ください。

IQVIA について

IQVIA (NYSE:IQV) は、先進的かつ高度な分析機能、変革をもたらすテクノロジー、および臨床試験サービスをライフサイエンス業界の皆さまへ提供する世界的なリーディング企業です。IQVIA は、自社に持つ分析力、革新的なテクノロジー、ビッグデータのリソース、そして広範な事業領域における専門知識により、ヘルスケアのあらゆる側面でインテリジェントな繋がり (intelligent connections) を創出します。私たちは、IQVIA Connected Intelligence™ により、強力なインサイトを迅速かつ変化に対応する機敏性をもってご提供することで、患者の皆さまの医療アウトカムを高める革新的な治療の臨床開発の加速化や、市販化の促進に取り組むお客様をご支援します。現在、私たち IQVIA はおよそ 74,000 人の従業員が世界 100 以上の国と地域で事業を展開しています。

IQVIA は、患者の皆さまの個人情報保護の分野においても世界をリードしており、個人情報を保護するために、プライバシー強化技術や安全対策に取り組んでいます。また、医療関係者の皆さまが疾患のパターンを特定してより優れたアウトカムを実現するために必要な、正確な治療方針や治療法と関連づけに資する規模の情報を、当社では生成・分析しています。IQVIA が持つインサイトや実務実行力は、治療・治癒の道を切り拓くバイオテクノロジー企業、医療機器メーカーおよび製薬企業、医学研究機関、政府機関、保険者やその他様々な医療関係者の皆さまによる、疾患や人間の行動、サイエンスの進歩に対するより一層の理解の深耕をご支援します。IQVIA の詳しい情報はこちら (www.iqvia.com) . をご覧ください。日本向けの URL はこちら (www.iqvia.co.jp)

本件に関するお問合せ先

IQVIA ジャパン グループ
広報マーケティング統括部
広報担当
Email jp.coms@iqvia.com